



平成11年9月 14 日

目黒区長
薬師寺 克一 殿

社団法人 日本建築家協会 関東甲信越支部
支部長 服部 範二
保存問題委員会委員長 兼 松 紘一郎

第一勧業銀行碑文谷グラウンド内旧日本勧業銀行別棟(妻木頼黄設計)
及びグラウンドクラブハウス保存に対する要望書

拝啓 時下益々ご清祥の事とお喜び申し上げます。

貴区におかれましては、日頃より文化の継承に深く理解をお示しになり、また当会の活動への御支援に対して深く敬意を表します。

さて、貴区が購入予定の第一勧業銀行碑文谷グラウンドは隣接する区立碑文谷公園に編入して使用されるとお聞きしており、大変結構なことと存じます。

さて、第一勧業銀行碑文谷グラウンド内に現存する管理事務所は、明治期の代表的な建築家の一人である妻木頼黄の設計により、また後に建築史に大きな足跡を残した武田五一が東大院生の在籍中に監督したと云われている旧日本勧業銀行本店の別棟であることが先頃確認されました。

妻木頼黄は日本橋(国の重要文化財)の設計者としても知られ、また旧日本勧業銀行本店本館は転売され、千葉市役所の使用を経て、現在は千葉トヨペットの社屋として使用され、一昨年度の文化財として登録されております。

この旧日本勧業銀行本店の別棟は、妻木頼黄の設計した建築物が殆ど残存していない現在、極めて貴重な建築であります。

又グラウンド内に併存しているクラブハウスについても、旧日本勧業銀行営繕部が設計した我が国の草創期のクラブハウスとして重要な文化遺産と云えます。

これらの建築物は、極めて繊細な造作の集積であるが故に、維持、保存の為には、大変な労力と、大きな経済的負担など、その存続に困難を伴うことは私共もよく承知しておりますが目黒区や東京都の文化財の指定、或いは先頃制定された国の文化財登録制度等の活用をご検討され、未永く保存されることを切望いたします。

併せて、凍結的な保存ではなく、公園内において区民に愛されながら活用されることが現在においては極めて重要であると考えます。具体的には、現地での保存活用を前提とした建築家による公開設計競技による検討も有力な選択肢の一つであり、その過程で多くの魅力的な提案が得られるものと確信します。

社団法人日本建築家協会関東甲信越支部並びに同保存問題委員会としても、出来得る限りの様々な協力をさせていただく事を申し添えます。

敬具